



定時制だより

五高 定時制 HP はここから▶

進 叡 敬
取 知 愛

校訓

令和7年度薬物乱用防止教室

5月22日(木)に、令和7年度薬物乱用防止教室を実施しました。今年は、法務少年支援センター(青森少年鑑別所)の阿部晋一先生に講師をお願いしました。

今回の授業では、「薬物に対する正しい知識」や「薬物乱用行為が及ぼす心身への影響」だけでなく、「**薬物に依存する原因を防ぐ**」ポイントとして、**コミュニケーション(話す)の重要性**について貴重な話をいただきました。

生徒だけでなく、私たち教職員も大変勉強になりました。

薬物乱用行為の原因

どうしよう～
こまったな～
にげたいな～
誰に言えない・・・

くすりくすり♪



悩みごと(勉強、友人、恋人、家庭、仕事・・・)

薬物に依存した人は、全て一人で悩みを抱えてしまった人

SNS等スマホでなく
”人”(会話)から学べし!



悩みなどは思い切って、人に話そうよ!
「話す」ことは悩み事を**離す(放つ)**
誰かに相談(話す)だけで・・・

辛さが**解放**、孤独感も**解消**、問題の**解決**
につながるソ! 一人で抱え込まないで助け
を求めよう!



生徒の感想から

1年次生徒

10代と50代が薬に多く手を出していることに驚きました。人間関係のストレスなどで薬に依存し、現実逃避するという行動は、一歩間違えれば誰でもやることなので、ストレスを長時間ため込まないように人に喋るなどして気をつけていきたいと思いました。

市販薬・処方箋を本来の使い方以外に使うような事にならないよう用法や容量をよく確認すること、オーバードーズの事件などをよく調べようと思いました。

1年次生徒

薬を間違った使い方をすると、体や脳にダメージを与え、それが全回復することは絶対にないことがとても恐ろしいなと思いました。悩みを抱えたとき、私は自分の身体や心を傷つけることをしていたので、誰かに相談して少しでも自分を傷つけないようにしたいと思いました。

2年次生徒

薬物乱用は身近に存在する事だということがわかりました。今、薬物乱用で問題になっているのが大麻と市販薬のオーバードーズで、どちらも手に入りやすいので使用されるケースが多いそうです。オーバードーズに関しては、薬物乱用事件の約3分の2を占めていて、社会問題にもなっているので、薬物に手を出す前に、悩み等は人に話すように心がけていきたいと思いました。

2年次生徒

自分のこれまでの人生を振り返って、もしかしたら違法薬物やオーバードーズをするかも知れなかった・・・と感じて怖くなりました。今度は、鑑別所の人たちの話も詳しく聞いてみたいと思いました。

3年次生徒

ドラッグストアで売っている市販薬も使い次第で薬物乱用になってしまう。普通に買える市販薬はとても身近ですが使い方を決める私が一番身近なんだな。と思いました。怖いですね。

阿部さんのタバコの話、私は笑って聞けましたが、阿部さんのことを考えると笑ってられませんね。でも笑っていただけるうちが いいのかもしれない。

前期中間考査が終了し、生徒の皆さんはホッと一息ですね! 学習の成果は発揮できたでしょうか?

他人から評価される”テスト”って誰でも嫌だね(笑) でも、自分の弱点などを知る良い機会にもなります。成果を出せなかったところはそのままにせず、先生方を大いに利用して教えてもらいましょう! 成長の秘訣ですよ。

それではみなさん、今週末の”遠足”楽しんでいきましょう!